

校 章

- 1 作成者
元 紋別市立紋別小学校教諭
西 野 栄 一 氏
(札幌市平岸町4条13丁目)



- 2 作成年月日 昭和30年10月

- 3 由 来

創立のとき全市から图案を募集して決めた。

外形の大角は銀色で、北国の雪の結晶を示し、心身共に強くたくましく成長することを願っています。

オホーツク海の雄大な自然の広く澄みきった心とその深さにならって濃い青色を地色とし、波立ちは元気な子供達を表しています。

中央の「潮」は朝日の輝く金色で限りなく発展してゆく希望に燃える心意気を示しています。

校 歌

- 1 作詞者・・・勝 承夫 (かつ よしお)
詩人。元東洋大学理事長、日本音楽著作権協会会長。古賀政男葬儀委員長。詩集「惑星」「朝の微風」「白い馬」「航路」などがあり、童謡「歌の町」「生活の歌」「若い合唱」の作詞でも知られている。教科書では、二年生「小ぎつね」、五年生「かねが鳴る」、六年生「こきょうの人々」「さようなら」等が採択された。
- 2 作曲者・・・小村 三千三 (こむら みちぞう)
「歌の町」などで知られる童謡作曲家
- 3 由 来・・・当時の父兄で円満寺住職橘薫一氏と勝氏とが同期、また初代石野校長の先輩とのよしみで、「何かの機会に遊びに来ないか。」との誘いをしていたところ、洞爺丸台風のころに一週間ほど来紋。昭和27年紋別小学校の校歌を作詞した勝氏との間で、たまたま潮見小学校の校歌が話題となり、「それでは開校5周年を記念して作りましょう。作曲者もお願いします。」ということで、昭和30年7月21日『校歌依頼状発送』、10月3日『校歌到着す』、10月8日『創立5周年記念式典儀式挙行』の中でのお披露目となったもの。